

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.54

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その54[2013年10月27日]

漢検学習における意欲の格差と英検学習の着実な歩み

大型台風27号が列島の太平洋沿岸に沿うようにして昨夜通り過ぎていった。台風一過、少々雲が残っているものの、本日(10月27日)は青空が広がる。数日來の雨もやみ、気分もそう快な私(谷村和枝)に松戸から同行してくれるのはAIM学習セミナーの佐藤豪講師。午前7時に松戸を出発、8時2分に上野で「はやて」に乗り、そして9時37分には日本シリーズ2戦目と全日本大学女子駅伝対抗選手権の両スポーツ・イベントが本日開催される仙台に降り立った。スポーツ愛好者ではあるが、ビッグ・イベントに係われる余裕は当方になく、9時47分には高速バスに乗り、石巻に向かった。

2012年3月以来の石巻再訪である佐藤講師に、門脇・南浜町を案内した。「変わっていないですね」と言う彼の言葉通り、ここは3・11で時間が止まっていた。その後、いつもの「大もりや」さんでランチ・ミーティングをし、タクシーで開設仮設団地 ささえあい拠点センターに向かった。



今日の寺子屋は2つの検定試験の狭間にあり、ひたすら学 門脇地区の「がんばろう!石巻」大看板前で習にいそむ回である。53回(10月12日)の寺子屋では2013年度第2回の英語検定1次試験が実施され、次回の55回(11月9日)には第2回の漢字検定試験(準1級と1級を除く)が予定されている。本レポートは、発表された結果も含めて、検定試験に焦点を合わせて報告をしていきたい。

まず、本日、寺子屋開催とほぼ同時刻に、上記のスポーツ・イベントが行われている仙台市で準1級の漢字検定試験を4人の受講者が受験していることから報告しよう。当寺子屋では準1級合格者は1人も現出していない。マニアックでハイレベルな漢字問題に取り組んでいるであろう4人に対して、「頑張ってください、受かってください」と石巻の地で皆と祈った。残留組の内、次回受験予定の3人が準2級と4級の漢検過去問題を解いた。合格ラインを越えたのは準2級を受ける高校1年生のE君(157点)だけであった。残りの2人は点数が足りなかった。そしてまた、本日は次回に漢検受験を予定している方の欠席が5人もいた。漢検学習者は実力とモチベーションの両方で格差が広がっていると思われる。

さて、10月12日実施の英語検定1次試験は受験者が素晴らしい結果を出してくれた。12人の受験者中11人が合格したのである。不合格の評価を受けてしまったのは、リスニングテストが上手いかずに、1点不足でライン割れた高校1年生のSさんだけであった。42/75点が彼女の得点で、合格ラインは43/75点であった。そして再スタートした本日の準2級の学習でも、リスニングが課題として現れていた。克服をすべき山がまだSさんにはある、そう感じた。

しかし、全体として見ると、中学生と成人の健闘が目立っていた。準2級を合格した中学2年のM君は60/75点、3級合格の中学3年生のAさんは50/65点(合格ラインは40/65点)、Yさんは53/65点、一般のCさんは49/65点、Aさんは48/65点であった。この5人は皆危なげない得点で、本日英会話面接の2次試験対策を私と学習した。2次試験の学習は個別に対応するので、5人の参加者と親密なコミュニケーションがとれて、この上なく楽しい授業となる。今も仮設住宅で暮らす人、3・11で一遍に15人の友人を亡くした人、津波を受けた家は新築できたが経済的に余裕がなくなった人、等々、5人はさまざまな被災者である。

そして、4級英検に合格したのは5人の中学2年生である。65問出題された内、61問、58問、57問、56問、50問の正解を勝ち取り、素晴らしい成績を残した。本日は部活動で欠席した1人を除き4人の中学2年生が次のステップである英検3級領域の関係代名詞を佐藤講師の指導で学習した。残る1人は5級英検に合格した中学1年生のE君で、34/50点であった。剣道部に所属して、礼儀正しいこのE君も4級の学習に進んだ。

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月23日
 第Ⅴ期 2013年3月10日～6月8日
 第Ⅵ期 2013年6月16日～11月9日

- ①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)
 2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日、7月7日、21日、8月12日、9月1日、15日、10月12日、10月27日、11月9日
- ②会場 仮設開設ささえあい拠点センター集会所
- ③検定受験(第Ⅵ期)
 平成25年度第2回英検 2013年10月12日
 平成25年度第2回漢検 2013年11月9日
- ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民
- ⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

寺子屋終了の10分前、外国語である日本式漢字を遠方から来て学習している2人の女性が、それぞれ勉強しているテキストが最終ページまでいったので、次のステップ(5級と7級)の「本をください」と私に要望した。検定の「試験は受けません」と自ら言っているの、学習の定着を推し量ることができず、佐久間先生も指摘されているように、今の学習法が彼女たちに適切かどうかの疑問が残る。ともあれ、要望された漢字の本は次回持参したい。



この日の指導を終えて集会所前で、左から佐久間さん、谷村和枝、佐藤豪さん

本日の出席は漢検学習16名、英検学習12名(重複あり)。わずか3名のスタッフで学習会を切り盛りしたので、スナップ写真を撮る時間を作れず、帰り際に、ささえあい拠点センターの玄関前で写真におさまった。次回の寺子屋は11月9日(土)、漢字検定試験の本番である。

報告:谷村和枝(AIM学習セミナー)

過去5の漢字検定実績・74名受検中合格者59名
 2級-13名、準2級-14名、3級-14名、4級-6名、5級-7名、
 6級-3名、7級-2名 (小中高生21名、一般38名)

英語検定実績・25名受検中合格者23名
 準2級-2名、3級-7名、4級-9名、5級-4名
 (小中高生18名、一般5名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
 後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
 支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)